

平成 29 年度 B 問題に挑戦

小学校第 5 ・ 6 学年

国 語

富山県教育委員会

小学校 国語

年	組	番	氏名
---	---	---	----

川田さんたちの学級では、グループごとに「家庭学習の取り組み方」というテーマで話し合って提案書を作ります。提案書に書くことを考えながら、【話し合いの様子の一部】を読み、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの様子の一部】

川田	みなさんは、どのように家庭学習に取り組んでいますか。	全員	賛成です。
小泉	私は家に帰ったらすぐに勉強しています。むずかしい算数の問題をすると、一時間ぐらい時間がかかります。	川田	まず、みなさんは、六十分以上の家庭学習の時間をどのように確保していますか。
山本	ぼくは、ねる前に勉強します。でも、ゲームで遊んでいたらねむくなり、朝起きてから、宿題だけさっとすることがあります。	水沢	私は、習い事など、自分の都合に合わせて二回に分けるなど、工夫して家庭学習の時間を確保するとよいと思います。
小泉	「富山小の家庭学習の手引き」には、「高学年の家庭学習の時間の目安は六十分以上」とありますが、山本さんは、六十分の勉強時間をとるのがむずかしいようですね。	今井	短い時間で分けると、学習する時間を確保しやすくなります。
水沢	私は、習い事のある日は、夕飯の前と後に分けて合計六十分ぐらい勉強するようにしています。短い時間には漢字練習や計算練習を行うなど、勉強する内容も工夫しています。	吉田	それもよいと思いますが、ぼくは、六十分続けて勉強する時間を確保したいので、生活表を作って時間を計画的に使うようにしています。
石田	私も短い時間を活用して、言葉の意味調べをしたりテスト問題の復習をしたりしています。	山本	ゲームをやめられない人は、生活表があると、生活時間を見直すこともできますね。
吉田	ぼくは、六十分続けて勉強することも大切だと思うので、続けるように努力しています。じっくりと問題に取り組んだり、事典やインターネットを使って調べ学習をしたりします。	吉田	時間を守れたかを自分でふり返ると、六十分の勉強時間を確保するために、時間を気にしながら活動するようになると思います。
川田	家庭学習の時間を確保する方法と家庭学習の内容について、意見が出ています。この二つのことを提案しますか。	川田	家庭学習の時間を確保する具体的な方法とそのよさについて意見が出ました。では、家庭学習の内容について意見はありませんか。 (話し合いは続く)

【一】 川田さんは司会を務めています。この【話し合いの様子の一部】での司会の役割として当てはまらないものを次のアからエまでのの中から一つ選んで記号で書きましょう。

- ア 家庭学習の取り組みについて、観点ごとに意見を求めている。
- イ 家庭学習の取り組みについて、時間を確保する方法と内容を提案しようとしている。
- ウ 家庭学習の取り組みについて、問題点を挙げて解決しようとしている。
- エ 家庭学習の取り組みについて、時間の確保と内容の二つの観点で整理している。

【二】 川田さんのグループは話し合いのあと、提案書を作っています。【1 時間の確保の方法】の提案部分【A】について【条件】に合わせて書きましょう。

【条件】 ○二つの方法のよい点を、【2 内容】の書き方を参考にして書く。
○それぞれのよい点について、五十字以内で書く。(数字を書く場合は一マスに書く)

60分以上の家庭学習をしよう

川田グループ

高学年になると、学習内容がむずかしくなり教科も増えるので、60分以上の家庭学習が必要だと考える。しかし、習い事などで、60分以上の学習ができない人もいる。そこで、家庭学習の「時間の確保の方法」と「内容」の点から60分以上の家庭学習をするための提案をする。

1 時間の確保の方法

ア 短い時間で分ける場合

イ 60分続ける場合

A

2 内容

ア 短い時間で分ける場合

漢字練習や計算練習、言葉の意味調べ、テスト問題の復習などをする。少しずつ多くのことができたり、集中力が続かないときに気持ちを切り替えるながら取り組むことができたりするよさがある。

イ 60分続ける場合

苦手な問題や調べ学習などをする。じっくりと取り組んだり、事典やインターネットなどのいろいろな方法で調べたりすることができるよさがある。

自分に合った方法で家庭学習に取り組んでみてはどうだろうか。

(横書きで◆から書きます)

①

短い時間で分ける場合



50字

②

60分続ける場合



50字

※ 左は下書き用紙です。使っても使わなくてもかまいません。